

これが異文化理解なのかな？

林 沙生理

私の英語が通じるのか、思いは伝わるのか、最初の2日間英語だけで過ごせるのか、等々、不安な事が一杯あった。でも、カルガリーの空港について、緊張していたけどホストに暖かく迎えられてすごく安心できた。ジェスチャーを使ったり、色々な言葉で言い換えたり、早口の子は努力してゆっくり話しかけてくれる、そういうやさしさを体感できた7日間だった。

周りの大人の人たちも、学校の子供たちも私の名前をちゃんと覚えて呼びかけてくれるし、話しかけてくれるし、自分が年上だと言う事を忘れて接するくらいみんな、みんな優しくかった！！

自分が以前行った事のあるハワイやケアンズとの違いも色々見つける事ができた。例えば、交通マナー、町の雰囲気など。それだけでなく、ホームステイをしたからこそ一般家庭の生活の様子を体験できたんだと思う。カナダの家には時計がほとんどないとか、朝食の内容や取り方などたくさん異なる点を見つけた。すごい異文化体験が出来たと思う。もっといろんな国の人々の暮らしについて知りたくなった。

今回、この研修に行く前、ホームステイなんてしたら自分の英語力のなさを痛感するだけだろうな・とか将来の夢のための大学進学を考えると、もっと違う事を学んだ方がいいのかな・などという思いがあった。

確かに自分の今までの発音では通じないし、とっさに"Please."の言葉が出てこないし、辞書に頼ってばかりの毎日であった。落胆したけれど、先生とホストとの会話を聞いていると私も加わりたい、もっと英語が話せるようになりたい、もっと異文化についても学びたいそして多くの国の人々、家庭、学校などを体験し日本との違いを知りたいと切実に思った。そしてそのためにはまず自分の国の事：言葉、文化、歴史をしっかり学ばなくてはならないと思った。

この研修で本当にたくさんのお話を学び、ふれる事が出来た。

一番心の残っているのは互いに一生懸命に伝えようとし、それで文化交流が出来たこと、そして言葉の枠を超えて話しかけてくれたり、世話をしてくれた人々の温かさを体感できた事だ。別れがつかなく涙が出たけど、それは始めの不安が吹き飛び、この研修が充実していた証拠だ！ 行ってよかった！またこの暖かさに出会えるように、"Let's study English hard and let's study Japanese culture,too." ホストファミリーは勿論、カナダでお世話になった方々、友達、ドン校長先生、この研修を許可してくれた両親、学校の先生と仲間、そして中村先生と7人の仲間、みんなのお陰で充実した1週間だった。 ありがとう。

